

Forest 通信 H28 12

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO. 334

巻頭 photo

高尾山の生きものたち

シメ (アトリ科)

この冬も里山や緑地帯で冬鳥のシメを見かけるようになりました。全長18.5cmのこの鳥の冬羽は地味ですが、くちばしの色が夏羽になると鉛色に変わります。プティツとかチチツと鋭い声の地鳴きやツイーと言う弱い声も出します。繁殖期には口笛に似た声でさえするそうですが、残念ながら当地域では聞く事ができません。

当年はこのシリーズをこの鳥でシメさせていただきます。ご愛読ありがとうございました。

今月の一句

「この鳥で 2016 お開きだ」



(フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎)

～ヤマコウバシ～



鮮やかに山を染め上げた紅葉も終わり、多くの木々は葉を落す。山は静かな時期を迎えるが、これから春先まで、にわかにその存在を誇示する樹木が、ヤマコウバシだ。

ヤマコウバシは、クスノキ科クロモジ属の植物で、ダンコウバイやアブラチャンなどの仲間であるが特に目立つ特徴もなく、葉の生い茂る夏の時期にはその存在を知らない方も多いのではなかろうか。ところがこのヤマコウバシ、枯凋性（こちょうせい）落葉樹にもかかわらず、秋から冬にかけて枯れた葉が枝から離れない性質、ブナ科・クスノキ科などに多

く見られる）が強く、冬枯れの森林の中で、茶色ではあるが葉をたわわに着けたその姿が大いに目に付くのである。

このヤマコウバシは、クロモジ属で唯一の混芽（こんが）で、ひとつの冬芽の中に葉と花がいっしょに入っている。また、雌雄別株だが雌株しかなく、雌株のみで結実する。雄株の知られていないミステリアスな植物である。

春になったら改めて観察したい植物でもある。葉が落ちないことから、受験の御守りになっているか！（二美）



冬枯れの中のヤマコウバシ



夏のヤマコウバシ

森林散策とつるかご編み ～一般公募イベント～

11月12日(土)に「森林散策とつるかご編み」を開催しました。林業の難敵である「つる類」を使用して楽しめる企画として例年人気の高いイベントです。今年も90名もの応募を頂きましたが抽選の結果、23名の参加となりました。快晴の中、まずは森林散策へスタートです。紅葉にはまだ早く、木々は色づいてはいませんが、ほかほか陽気とあって秋の空気を十分満喫できました。

森林散策から帰ってきたら、早速お待ちかねの「つるかご編み」です。全員で説明を受けた後、4班に分かれて編み始めました。最初は多少苦労される方が多かったのですが、慣れてくるとコツを掴んで上手に編めるようになってきました。大きなかごを作る人、緻密に編み込んでいく人、2個目に挑戦し始める人など個人差はありますが、各々が自分のペースで楽しんでいました。

どんな作品に仕上がるのかな？



★個性豊かな作品たち★



すばらしい天気にも恵まれました!



真剣なまなざしで・・・



今回制作された作品を見ると、大きな器から小さな一輪挿しまで用途も多種となっています。

また、作っている途中で別のイメージが湧いてきて形や大きさを変えていく場合も多いのですが、最終的には各個人が満足いく作品に仕上がっていた様子でした。何でも手に入る現代人だからこそ、素朴な味わいのつるかごの魅力があるのでしょうか。

終了後には全員で「鑑賞会」を行いました。全ての作品がオンリーワンのハンドメイドとあって、会場となった森林ふれあい館のホールはさしずめルーブル美術館!といった雰囲気?となりました。そして閉会式が終わってバスに乗り込む参加者達の手には、あの「つる」から作られたとは思えない素敵な「芸術作品」達がしっかりと握りしめられていました。

おそらくクリスマスには素敵なインテリアとして各家庭に彩りを加えてくれることに間違いありません。(磯)

森の宝探し!

～横浜市立下田小学校～

11月4日(金)、横浜市立下田小学校4年生111名が、宿泊学習で森林ふれあい館へ森林学習に訪れました。バスから降りてきた児童たちは、「おはようございます。」と元気よくあいさつし荷物を整理した後、午前中は大きく2班に分かれ座学と丸太切りを体験しました。

座学は地球温暖化に関するDVDの観賞と森林の働きについて説明を行いました。また、丸太切りではノコギリを使った経験のある児童が多く、切るコツを教えると上手に切り落とし、準備した丸太が細かったからなのか4枚も5枚も輪切りにしている児童がいました。

昼食後、森林散策に出発です。職員の説明を聞きながら約2時間の散策を楽しみました。この時期に散策をして楽しめるのは、「森からのおくりもの」です。歩道や林道上には色鮮やかな木の实などがたくさん落ちています。児童たちに、「宝物探しをしよう!!」と声をかけると夢中になって探しています。見つけた児童は「やったあ～」と喜んでくれます。

そして、森林散策での名物スポット山彦ポイントでは、グループ全員でタイミングを合わせ「ヤッホッ!!」と叫び、返ってきたこだまに「オ～～」と感激していました。児童たちは、「森林のことをたくさん学べてよかったです」などの感想を残し、宿泊地へ向けふれあい館を後にしました。(清)



突然の大雪にも・・・

かけつか
～渋谷区立加計塚小学校～



11月24日(木)、11月の初雪としては54年ぶりの記録となった東京。中でも当センターが所在する八王子市はこの時期としてはびっくりするような大雪に見舞われ、センター周辺は一面の銀世界となりました。このため、翌日に予定していた渋谷区立加計塚小学校の森林教室は、急遽内容を変更することとし、当センター内にある展示室、クラフト室で開催することとしました。

加計塚小学校の4年生58名が高尾を訪れた25日は快晴で氷点下の寒い日でしたが、たくさんの雪が残り、この時期には見られない風景に生徒たちは大喜びでした。しかし森林散策をメインにスケジュールを組み立て森林教室を実施している当センター職員は、初めてとなるセンター事務所内での森林教室の実施に戸惑いながらも、森林学習、丸太切り、クラフト作成等の指導にあたりました。

初の試みとなったクラフト作成では、みんなが夢中になりできあがった作品はどれも個性豊かな力作揃いで楽しい時間を過ごせたようです。

閉校式では「森林学習で森林の大切さがわかった。今日勉強したことを考えながら生活したい。」「丸太切り・クラフト作成が楽しかった。また雪遊びも出来て楽しかった。」などの感想が聞かれ、無事に森林教室を終えることができたことにほっとしたところですが、生徒たちにとって一番楽しかったのは、減多にできない雪遊びだったのではないのでしょうか。今回は、まさかの大雪のため、隣接する「高尾599ミュージアム」にもご協力を頂くなど予定を急遽変更しての森林教室の開催となりましたが、笑顔で帰路につく生徒たちを見送りながらひと安心した1日となりました。(谷)

興味いっぱい！ ～八王子市立上柚木小学校～

11月7日（月）、八王子市立上柚木小学校の5年生、73名が森林教室を実施しました。

5年生の社会見学の一環で、午前中にサントリー武蔵野工場を見学後、「ふれあい館」に移動しての森林教室、時間が限られていたため森林散策のみの変則的な森林教室でしたが、森林の中に入ると樹木や野草に興味津々、沢ガニを捕まえたり、ヤホーポイントでは声を合わせる班やバラバラに声を発する班があり元気いっぱいでした。

閉校式では、「スギの皮はなぜはがれてくるのか？」「高尾山で一番古い樹は何歳か？」などの質問がでて、森林に対する興味を深めて帰校していきました。（Ⅲ）



出張森林教室 ～大和市立北大和小学校～



11月19日（土）、神奈川県大和市立北大和小学校へ出向き、北大和小学校PTAが主催する「第16回北小カルチャークラブ」に当センターも参加しました。今年度は34の講座で開催されどの講座も大盛況で、当センターの森林教室「森のクラフト屋」へも41名が参加し、1年生から6年生までの児童が2クラスに分かれ、講師及びスタッフの指導のもと自分だけのクラフトを思い思いに作成していました。

最後に児童からは「来年も参加したい」との嬉しい声をいただき学校を後にし、充実した活動となりました。このイベントへ参加できたのは、北大和PTAの皆様をはじめ、保護者の皆様方及び森林ボランティアFS高尾の皆様方の綿密な準備があったからです。本当にお疲れ様でした。（屋）

クラフト体験

～江戸川大学～

11月7日（月）、江戸川大学のこどもコミュニケーション学科の2年生38名が、野外指導の集中講義として、クラフトの作成体験を行いました。体験は、幼児向け教材開発の事例研究を実際に体験して、コミュニケーション能力の向上と幼児教育の研

究を目的としています。学生は、将来の幼稚園の先生をめざし、園児への指導を想定しながらクラフトを作成していきました。センターでは、教育機関等によるクラフト体験を優先的に受け入れていますので、是非ご利用ください。（Ⅲ）



編集後記

気がつけばもう師走。紅葉も終盤を迎えて高尾山はこれから冬へと向かう。しかし高尾山へと向かう参道にはまだまだ沢山の観光客が・・・そして大晦日から元旦にかけての山頂付近は凄まじい賑わいとなる。

あと数ヶ月経てば赴任して一年となるが、定番の一言で言わせてもらえば「あっと言う間の一年」となりそうだ。来年が良い年でありますように！って、ちょっと早いかな？（磯）

Forest 通信 No.334

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 050-3160-6040 FAX042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>